



Gateway to College English

文法から学ぶ大学基礎英語

表 正幸

Gateway to College English

Copyright © 2014

Masayuki Omote

All rights Reserved

*No part of this book may be reproduced in any form without written permission
from the author and Nan'un-do Co., Ltd.*

はしがき

英語が勉強したいと言う大学生のみなさんがよく筆者の研究室を訪ねてくれたり、授業の終わりに質問に来てくれたりします。そうした学生のみなさんと話をして、筆者が学生のみなさんにいつも尋ねることがあります。

どのような英語が勉強したいのですか？何のために英語が勉強したいのですか？

英語が勉強したいと言うのに期待通りの答えが返って来ないからか、この質問に面食らう学生が少なからずいます。一方、英検が受けたいとか TOEIC® が受けたいとかはっきりと答えてくれる学生もいます。

PDCA サイクルとは、Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Act(改善)の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善することを表す経営の用語です。この考え方を活用して、英語の学習効果を最大限に上げるために、今一度、学生の皆さんが、自分は何のために英語を勉強するのか自問自答して見ましょう。英語学習の目的を再度確認することは、言わば、英語のPDCA サイクルのPlan(計画)の基礎に当たります。目的がはっきりして来れば来るほど、どのように、また、英語の何を勉強すべきか、すなわち、Plan(計画)もはっきりして来ます。そうして、英語学習を実行(Do)に移す学生にとって、この教科書は、英語が苦手でも、その人の励ましになるでしょう。また、この教科書は、英語が伸び悩んでいる人の手助けになるでしょう。もちろん、この教科書は、英語の検定試験を受けたいけど、文法の勉強は嫌いだという人には知恵を貸すでしょう。

本教科書は、文法事項を中心とした練習問題や読解問題を学生に課すことによって、英文のルールとして Unit 1～Unit 11 までは、一つの英文の主語(S)と動詞(V)を一つずつに絞ることと、動詞(V)の活用形がしっかり作れるようになることをトレーニングします。その結果として、一つの英文にむやみやたらに複数の主語(S)と動詞(V)を入れてはいけないということをみなさんが意識できるようになったあと、Unit 12～Unit 15 で、準動詞が動詞(V)に見えるけれど、一つの英文で複数の動詞(V)を使っているわけではないことを学習して確認します。そうした土台ができたあと、いよいよ、残りのUnitでどのようにすれば一つの英文に複数の主語(S)と動詞(V)を入れられるかを学習します。とは言うものの、本教科書は、複雑な文法項目には対応しておりません。ですから、本書の不足している部分は、学生のみなさんが先生に質問をすることによって、みなさんの熱意でカバーして下さい。この教科書が学生のみなさんとみなさんの先生とが英語について、話をするきっかけになれば、たいへん嬉しく思います。

目次

はしがき		3
Unit 1	名詞と冠詞	5
Unit 2	2語以上で動詞(V)の場合	8
Unit 3	主語(S)と主部	11
Unit 4	三単現のS	14
Unit 5	過去形(・過去分詞)の作り方	17
Unit 6	未来形と関連表現	20
Unit 7	現在完了	23
Unit 8	進行形	26
Unit 9	疑問文・否定文の作り方	29
Unit 10	疑問詞を使った疑問文	32
Unit 11	文の主要素と五文型	35
Unit 12	受動態	38
Unit 13	受動態は過去分詞	41
Unit 14	能動態は ing 形か不定詞	44
Unit 15	不定詞の形容詞的用法, etc.	47
Unit 16	接続詞	50
Unit 17	疑問詞のない間接疑問文	53
Unit 18	疑問詞のある間接疑問文と譲歩構文	56
Unit 19	名詞と代名詞	59
Unit 20	関係代名詞	62
Unit 21	関係代名詞 what	65
Unit 22	関係副詞	68
Unit 23	時制の単純化	71
Unit 24	仮定法過去	74
Unit 25	仮定法過去完了	77
Unit 26	仮定法を使った構文	80
Unit 27	Backshift	83
Unit 28	話法の転換(平叙文)	86
Unit 29	話法の転換(疑問文)	89
Unit 30	話法の転換(命令文など)	92
資料 1	語彙表	95
資料 2	動詞活用表	106



Unit 1

名詞と冠詞

数えられる名詞と数えられない名詞

名詞とは、人や物事を言い表すために、それらにつけた名前のことです。名詞には数えられるものと数えられないものがあり、次の表のような使い分けをします。

U 数えられない名詞

形態	意味		例	日本語訳例
名詞 (N)	N (というもの)	総称	work	仕事 (というもの)
the + 名詞 (N)	その N	特定化	the work	その仕事

- ・ **抽象名詞** … 頭の中にしか存在しない観念につけた名前なので、手に取って見ることはできません。例 happiness, information など。
- ・ **固有名詞** … 地名や人名などで、常に大文字で書き始めます。例 New York, the United States, Smith など。
- ・ その他 … **物質名詞** 例 water, money, paper など。
人以外のものを表す**集合名詞** 例 mail, furniture, fish, hair など。

C 数えられる名詞

形態	意味		例	日本語訳例
a + 名詞 (N)	N (というもの)	総称	a cat	猫 (というもの)
	(とある一つの) N	不特定		(とある一匹の) 猫
複数形の名詞 (N)	N (というもの)	総称	cats	猫 (というもの)
the + 名詞 (N)	N (というもの)	総称	the cat	猫 (というもの)
	その N	特定化		その猫
the + 複数形の名詞 (N)	その N (すべて)	特定化	the cats	その猫達 (すべて)

- ・ **普通名詞** … 次の「人を表す集合名詞」を除く数えられる名詞のことです。
- ・ **人を表す集合名詞** … 特殊な使い方をするグループ名です。例 family, people, police など。

上表の () に入っている日本語は、名詞を訳す時の参考にして下さい。(というもの) がついている日本語訳例は、その名詞がそのグループの代表を表しています **[総称]**。例えば、“cats” であれば、猫のことを話の中で取り上げてはいますが、どの猫か分かりません。一方、「その」がついている日本語訳例は、特定の猫のことを言っていることとなります **[特定化]**。

名詞とよく一緒に使われるその他の単語 (= 決定詞)

例 some, any, few, little など。

Unit 1

🌸 練習問題 1 🌸

例にならって、次の1～5の英文の日本語訳を完成させながら、下線部分を施した名詞が数えられる名詞か数えられない名詞かを答えなさい。

- 例：It's easy to make a mistake. (数えられる) 名詞
(ミス) をするのは簡単だ。
1. She has dark eyes. () 名詞
彼女は黒い()をしている。
2. It looks like rain. () 名詞
() が降りそうだ。
3. The cafeteria is noisy and full of activity. () 名詞
学食はにぎやかで、() に満ちている。
4. Get out of the house, or I'll call the police. () 名詞
家から出て行け。さもないと、() を呼ぶぞ。
5. Sue spends all her money on clothes. () 名詞
() は有り金すべてを服につぎ込む。

🌸 練習問題 2 🌸

例にならって、冠詞などに注意しながら次の1から10の英語を日本語に直しなさい。

- 例：the cat (その 猫)
1. a friend () 2. the water ()
3. stores () 4. any apples ()
5. the men () 6. Americans ()
7. some foods () 8. any PC ()
9. three flowers () 10. the cup ()

🌸 練習問題3 🌸

次の英文を読んで、その文意にそって(イ)～(ニ)に入れるのに適切なものを1～4のなかから一つ選びなさい。

Edible¹ Flowers



We have all heard the phrase “stop and smell the roses².” Did you know (イ) are edible? For example, you can use rose petals to decorate cakes. You can add them to salads. Be sure to³ remove the bitter white part of (□) before eating. The more fragrant⁴ the rose is, the sweeter it tastes.

You can also use several beautiful plants in cooking. Both violets and lavender will give your salads a sweet contrast. Small edible flowers in ice cube trays⁵ will put a decorative touch to⁶ beverages⁷.

Actually, you can use calendula in place of saffron⁸. It is inexpensive. Another edible alternative⁹ is dandelion¹⁰ buds¹¹. When you fry them in butter, they taste like (ハ). You can boil hibiscus and make tea.

The possibilities are endless. But do your research before experimenting. Be the talk of¹² the neighborhood by adding more creative touches to¹³ your cooking. Plants in your backyard are enough to¹⁴ put some excitement in your recipes. What will you do with (ニ) and your garden?

Notes 1. edible「食べられる」 2. stop and smell the roses「のんびりして日常生活を満喫しよう」 3. Be sure to do「必ず～して下さい」 4. fragrant「芳ばしい」 5. ice cube trays「製氷皿」 6. put a ... touch to O「Oに…な色合いを与える」 7. beverage「飲み物」 8. calendula in place of saffron「サフランの代わりにキンセンカ」 9. alternative「代用品」 10. dandelion「タンポポ」 11. buds「芽」 12. Be the talk of O「Oがあなたの話でもちきりになるようにして下さい」 13. by adding more creative touches to O「Oにいっそう創造的な色合いを与えることによって」 14. enough to do「～するのに十分な」

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| (イ) 1. much flowers | 2. many flowers |
| 3. flower | 4. any flower |
| (□) 1. Petal | 2. some Petal |
| 3. a petals | 4. the petals |
| (ハ) 1. lemon | 2. a kaleidoscope |
| 3. apple | 4. mushrooms |
| (ニ) 1. a little imagination | 2. little imagination |
| 3. a few imagination | 4. few imagination |



🌸 練習問題 1 🌸

例にならって、各文の主語(S)と動詞(V)を指摘し、日本語に直しなさい。

例：Sales will improve soon.

S V
売り上げはまもなく伸びる。

1. Daniel can speak a little English.

2. Michael got a speeding ticket¹ in Madrid.

3. The mother is singing her baby to sleep².

4. The students often sleep late on the weekends.

5. She will make great tasting³ home-made pizza.

Notes 1. speeding ticket 「スピード違反の反則切符」 2. sing O to sleep 「子守唄を歌ってOを寝かしつける」 3. great tasting 「ほっぺたが落ちそうな」

🌸 練習問題 2 🌸

次の日本語の意味を表すように()内の英語を並び替えなさい。

1. 私たちは高校のころからの親友だ。
We (been / since / have / best / friends) high school.

2. 彼はその芸人のものまねをする。
He (the / of / impression / does / gagman / an).

3. その3Dテレビは展示会で公開されるだろう。
The (show / will / on / 3D television / be) at the exhibition.

4. 自信が成功へのカギだ。
Confidence (key / is / the / success / to).

5. 私は毎日妻を見舞った。
I (my wife / paid / on / at / a call) the hospital every day.

Unit 2

🌸 練習問題 3 🌸

次の英文を読んで、その文意にそって(イ)~(ニ)に入れるのに適切なものを1~4のなかから一つ選びなさい。

Optimist¹ or Pessimist²?



The glass is half full. An optimist (イ) there is still water in the glass. The glass is half empty. A pessimist is fearful³ the water is almost gone.

An optimist will see the positive side of life. A pessimist will see negatives in almost every⁴ situation.

Tom was employed yesterday. Today, he has been laid off. How will he react to his new circumstances? When he was working, he no longer⁵ (□) satisfaction in his job. In fact⁶, he was really relieved⁷ when he became jobless.

Yesterday, he was dreading⁸ going to work. Today he sees opportunity. He has a dream and (ハ) towards achieving that dream⁹. When Tom was an accountant¹⁰, he dreamed of becoming a writer. His dreams would never come true, he felt. Now he is free to¹¹ live his dream¹².

Tom (ニ) by an advertising firm¹³. Today he is a successful writer and is living his dream.

Under unforeseen circumstances¹⁴ you have to be either an optimist or a pessimist.

Notes 1. optimist 「楽道家」 2. pessimist 「厭世家」 3. be fearful that S + V 「S が~することを恐れる〔心配する〕」 4. almost every N 「ほとんどすべてのN」 5. no longer 「もはや~ない」 6. in fact 「実は」 7. relieved 「ほっとして」 8. dread doing 「~するのをひどく心配する」 9. achieve a dream 「夢を実現する」 10. accountant 「経理担当者」 11. be free to do 「自由に~する」 12. live one's dream 「夢を追って生きる」 13. an advertising firm 「広告会社」 14. under unforeseen circumstances 「不測の事態が生じると」

- (イ) 1. see 2. sees 3. saw 4. seen
- (□) 1. found 2. founded 3. find 4. was found
- (ハ) 1. working 2. work 3. will work 4. were working
- (ニ) 1. hire 2. hires 3. hired 4. was hired

